「平気、平気。」
ビジネスにおける文化の違い？

昨日は不思議で色々あった一日だった。
突風でありとあらゆるものが舞い上がる。プラハ市内でも停電発生。
勃発した熱がゆっくりと上昇し 38,6 ℃を観測！
以前携わっていた業務において、仕掛けたプロジェクトが功を奏したとクライアントよりご連絡をいただく。

「・・・の依頼」という厳しい文面のメールを開いてみる。

メール一行目：
「不正に取り外した、破損したホイールキャップを今すぐ返却ください。」

以前返却した（オペレーティングリース）の社用車の話だ。

フフッと笑いが込み上げる。

リース会社とは会社同士で良い付き合いだったものの、契約解消後には泥棒にされてしまった。

それはさておき、ホイールキャップってどうやって盗む（取り外す）んだっけ？

（うーん・・・）わかんない。

日常生活、仕事においても誤解が多いのは仕方のないことである。
平気、平気。
厳しいメールを送った女性のマネージャーさんの心境も理解できる。
不正行為によるトラブルばかり扱っているのかもしれない。

車の引渡書もあれば、社用車は返却するその日まで１０日間程正規ディーラーのもとで修理に出していた。
正規ディーラーは間違いなく何も盗まないですね。

そこで、何らかの情報をいただけると思われ関係者を全員同報して、「どなたか説明をお願いできませんか」と返信する。
会社として払うべきものを払うのが当然。しかし、その前に事実関係を明確にするステップは必要。

捜査（笑）は一瞬で終了。

ディーラーのスタッフからの回答。
「リース会社の誰かと（記憶なし）の合意に基づきホイールキャップを取り外し、誰かが引取りに来る約束でしたが、結局来ませんでした。もう半年以上も倉庫に置きっぱなしです。」
すぐにリース会社から謝罪のメールが入り、一件落着。

そうそう、こんな風にハッピーエンドになると思ってた。

ふと、日本だったら・・・と考える。
さすがに（元）クライアント宛の初回のメールで、「不正な」といったきつい表現は避けるだろうな。
「ホイールキャップが返却されませんでしたが、何かご存知ありませんか。」といった切り口が無難かなー。

どちらにしても、仕事における混沌とした状況は珍しくもないので、「平気、平気。」といちいち取り乱さないでいられる精神は必要。

一度、ポーランド人の女友達から言われたこと。
「日本人ちゃん※、チェコ人ってめちゃくちゃ物盗むでしょ。ポーランド人も同じ。でもね、ポーランド人は実際に存在しない物まで上手く売るんだよね！わかる？」

（私）わからんわ🤣
＝分からないよ

いえ、実際に友達が言いたかったことは理解しました。
騙すという詐欺行為が日常茶飯事であれば、それなりに慣れ、一々驚かなくなるもの。
現実から目を逸らさないで色々なことに慣れて、大したことでもないのに一々過剰に反応しなくてもいいメンタルも身につけなきゃね・・・ということ。

※私を多少からかいたい時はこの呼び方でしたね。

こんな会話をしてから１２年は経ったのかな。
昨日は熱が出ていたが、「平気」だったよ😄

良い週末をお過ごしください！